



報道発表資料の配付日時 6月17日(木) 15時00分

発表項目 (行事名)	令和3年度 「北海道6次産業化サポートセンター」の運営開始について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>本道における6次産業化を推進するため、農林漁業者からの個別相談への対応などの支援を行う「北海道6次産業化サポートセンター」につきまして、令和3年度の業務を別紙のとおり公益財団法人 北海道農業公社に委託し、相談業務を開始することとなりましたので、お知らせいたします。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>北海道6次産業化サポートセンター(事務局) (運営委託先:公益財団法人 北海道農業公社) 所在地 〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目 北海道通信ビル6階 電話 011-522-5671</p> </div> <p>※詳細につきましては、別紙をご参照ください。</p>		
参考	6次産業化とは… 農産物など地域の特色ある資源を活用し、農林漁業者による生産・加工・販売の一体化による付加価値の拡大や、農林漁業者と2次・3次産業事業者との連携による、新たなビジネスの展開や産業の創出を実現することにより、雇用の確保と所得の向上による農林漁業・農山漁村の再生・活性化を目指すもの。		
報道(取材)に当たってのお願い	農林漁業者が6次産業化の取組を始める際に、最も頼れる存在となるのが、この「サポートセンター」ですので、相談窓口について電話番号を含めて報道していただきますようお願いします。		
他のクラブとの関係	同時配付		
	同時レク		
担当 (連絡先)	<p>公益財団法人 北海道農業公社担い手本部農業経営相談室 (担当者:千崎、白旗) TEL 011-522-5671</p> <p>北海道農政部食の安全推進局食品政策課6次産業化係 (担当者:多田、三丈) TEL ダイヤルイン 011-204-5432 内線27-682、27-668</p>		

## 令和3年度6月からの「北海道6次産業化サポートセンター」について

本道における6次産業化を推進するため、農林漁業者からの個別相談への対応などの支援を行う「北海道6次産業化サポートセンター」につきまして、令和3年度からは、公益財団法人北海道中小企業総合支援センターから公益財団法人北海道農業公社に運営が変更になり6月21日から支援業務を開始することとなりました。

【運営委託先】 公益財団法人 北海道農業公社

【運営主体】 北海道

### 【おもな業務内容】

- 6次産業化企画推進員が皆様からの相談に対応します  
「北海道6次産業化サポートセンター」では中小企業診断士や農業経営アドバイザーなどの資格を持つ6次産業化企画推進員が、6次産業化に取り組む農林漁業者等からの「農林水産物等を活用した新商品の開発」「新たな販路の開拓」「商品のパッケージデザインの改良」などの相談に電話等で対応します。
- 経営全体のレベルアップを図る取組をサポートします  
6次産業化に取り組む農林漁業者等において、希望者(公募により選定)に対して専門的な知識や経験を有する6次産業化プランナーを派遣します。6次産業化プランナーは経営全体のレベルアップ(付加価値向上)を図る経営改善戦略の作成支援を行い、実行に向けた取組をサポートします。
- 経営改善戦略のフォローアップを行います  
経営改善戦略を作成した翌年度から5年間、経営改善戦略の実行状況等を検証し、達成に向けて的確なアドバイスを行います。

【相談受付時間】 9:00～17:30 (土・日・休日、年末年始(12/31～1/5)を除く)

【相談窓口】 011-522-5671  
札幌市中央区北5条西6丁目1-23  
北海道通信ビル6階  
公益財団法人 北海道農業公社  
担い手本部農業経営相談室内

### ※本件についてのお問合せ先

公益財団法人北海道農業公社担い手本部農業経営相談室	千崎、白旗	電話 011-522-5671
北海道農政部の安全推進局食品政策課6次産業化係	多田、三丈	電話 011-204-5432

6次産業化に関するお問い合わせ・連絡先

公益財団法人 北海道農業公社  
(北海道6次産業化サポートセンター)

〒060-0005  
札幌市中央区北5条西6丁目1-23  
北海道通商ビル6階  
TEL 011-522-5671  
FAX 011-271-3776  
URL: <https://www.adhokkaido.or.jp>  
E-mail: [Keielsoden@adhokkaido.or.jp](mailto:Keielsoden@adhokkaido.or.jp)

○ 北海道

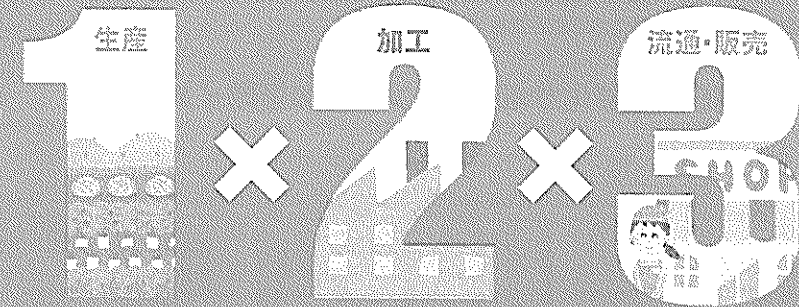
北海道農政部 食の安全推進局	〒060-8588	札幌市中央区北3条西5丁目 本庁舎7階 食品政策課6次産業化係	TEL 011-204-5432
空知総合振興局 農務課	〒069-8558	岩見沢市8条西5丁目	TEL 0126-20-0082
石狩振興局 農務課	〒060-8558	札幌市中央区北3条西7丁目 道庁別館	TEL 011-204-5847
後志総合振興局 農務課	〒044-8588	札幌市東区南1条東2丁目 後志合同庁舎	TEL 0136-23-1388
胆振総合振興局 農務課	〒051-8558	室蘭市海岸町1丁目4番1号 むろらん広域センタービル	TEL 0143-24-8818
日高振興局 農務課	〒057-8558	滝川郡滝川町栄丘東通56号	TEL 0146-22-9344
渡島総合振興局 農務課	〒041-8558	函館市夷原4丁目6番16号 渡島合同庁舎	TEL 0136-47-9497
檜山振興局 農務課	〒043-8568	檜山郡江刺町厚層町336番地3	TEL 0139-62-6571
上川総合振興局 農務課	〒079-8610	旭川市永山8条19丁目1番1号 上川合同庁舎	TEL 0166-46-4984
留萌振興局 農務課	〒077-8585	留萌市住之江町2丁目1番地2	TEL 0164-42-8490
宗谷総合振興局 農務課	〒097-8558	稚内市末広4丁目2番27号	TEL 0162-33-2559
オホーツク総合振興局 農務課	〒093-8585	網走市北7条西3丁目	TEL 0152-41-0780
十勝総合振興局 農務課	〒080-8568	帯広市東3条南3丁目1番地	TEL 0155-26-9063
釧路総合振興局 農務課	〒085-8568	釧路市浦見2丁目2番54号	TEL 0154-43-9221
根室振興局 農務課	〒087-8568	根室市常盤町3丁目28番地	TEL 0153-23-6871

○ 北海道農政事務所

北海道農政事務所生産経営産業部	〒064-8518	札幌市中央区南22条西6丁目 エムズ南22条東ビル 事業支援課	TEL 011-330-8810
函館地域拠点	〒040-1132	函館市新川町25番18号 函館地方合同庁舎	TEL 0138-38-9006
旭川地域拠点	〒078-8506	旭川市宮前1条3丁目3番15号 旭川地方合同庁舎	TEL 0160-30-9303
釧路地域拠点	〒085-0017	釧路市幸町10丁目3番地 釧路地方合同庁舎	TEL 0154-99-9048
帯広地域拠点	〒080-0010	帯広市西6条南7丁目3番地 帯広地方合同庁舎	TEL 0155-24-2401
北見地域拠点	〒090-0018	北見市青葉町6番8号 北見地方合同庁舎	TEL 0153-23-6871

6次産業化中央サポートセンター (株式会社パンナ農振隊)	〒040-1132	東京都千代田区大手町2-6-2 URL: <a href="https://rokusapo.com/">https://rokusapo.com/</a>	TEL 03-6734-1260
---------------------------------	-----------	---	------------------

北海道の6次産業化を  
専門家がサポートします!!



6次産業化

所得の向上・雇用の確保

企画推進員

産地相談等、支援候補者の  
現地調査、「経営改善戦略  
支援計画」の策定

地域支援検討委員会

「経営改善戦略支援計画」  
の検証、支援対象者選定、  
支援方向の検討

地域プランナー

「経営改善戦略支援計画」  
に基づき、支援対象者の現  
地指導及び経営改善戦略  
の策定・実行支援

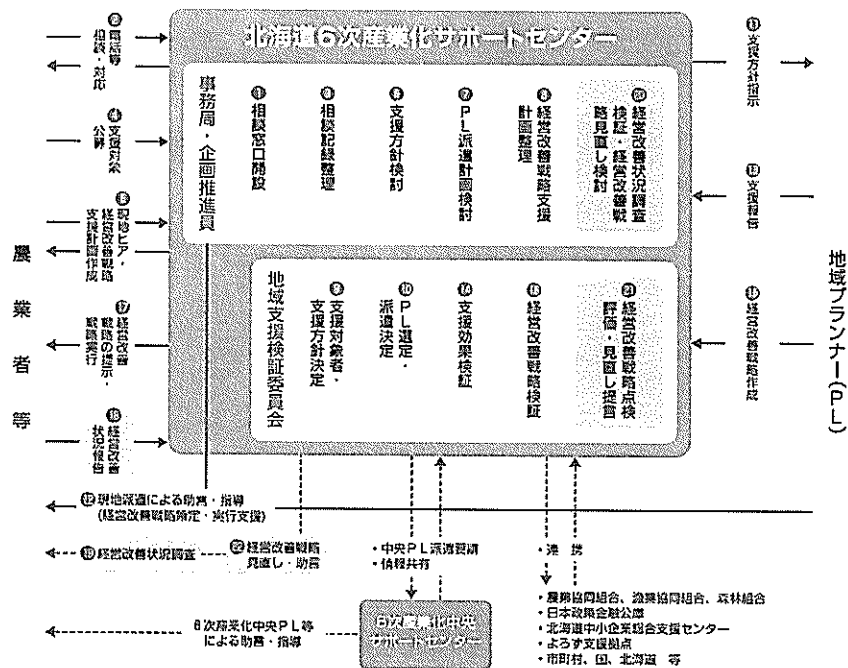
北海道6次産業化サポートセンター  
(公財)北海道農業公社 担い手本部農業経営相談室内

# 公益財団法人北海道農業公社は、令和3年度から北海道の委託を受け、「北海道6次産業化サポートセンター」を開設します。

## ○「北海道6次産業化サポートセンター」設置団体が変わりました

令和3年度から、公益財団法人北海道農業公社が6次産業化サポートセンターの設置団体となり、農業者等の6次産業化の取組み支援を行っていきます。

## ○北海道6次産業化サポートセンターの活動イメージ



※ ①～②は過年度案件

## ○北海道6次産業化サポートセンター開設期間

令和3年6月21日(日)から令和4年3月18日(木)まで  
9時から17時30分まで(土日休日及び年末年始(12/31から1/5)を除く)

## ○支援の流れ

- ① 経営改善などに意欲のある農業者等に対し、支援対象候補者の公募を行います。
- ② 応募のあった支援対象候補者から、地域支援検証委員会が支援対象者を選定します。
- ③ 企画推進員が経営改善戦略支援計画を作成し、地域プランナーを派遣し支援対象者の経営改善戦略の策定・実行を支援します。
- ④ 支援対象者は、支援実施年度の翌年度以降5年間毎年経営改善状況報告書をサポートセンターに提出します。
- ⑤ 経営改善状況報告書の点検・評価を行い、必要に応じて経営改善戦略の見直しなど支援対象者に対して提言を行います。

## ○6次産業化企画推進員のご紹介



伊野 博成

農業技術研究、食品開発、新工場建設を前職で経験。6次産業化支援においては、農業者の技術面・経営面の強みを生かしながら、財務的リスクの少ない事業計画づくりを推進する。

- ◎ ATG技術経営事務所 代表
- ◎ 技術士(農業部門) ◎ 中小企業診断士 ◎ 農業普及指導員 ほか



佐藤 隆彦

大手総合商社勤務時代に、外国産生鮮青果物の輸入取引や北海道産果実の産地開発および国内販売取引に従事する。現職就任後は、新規ビジネス開発のノウハウを活かし、事業計画策定の支援実績を有する。

- ◎ 株式会社リテイル・エンジニアリング・アソシエイツ 取締役食料事業部長
- ◎ 野菜ソムリエプロ ◎ 北海道フードマイスター



河野 和幸

オホーツク財団勤務時代に加工食品の開発を通じて地域振興に携わる。農林水産省の「6次産業化ボランティア・プランナー」としても活躍し、数多くの支援実績を有する。

- ◎ 改良普及員(農業) ◎ 食品衛生責任者 ほか



佐藤 翔

日本政策金融公庫勤務時代に、農業・食品加工流通業の融資支援に携わる。独立後、農業専門の税理士として活動するとともに、平成25年から企画推進員に従事し、多数の6次産業化の支援実績を有する。

- ◎ 税理士法人アンビシャス・パートナーズ 代表社員
- ◎ 税理士 ◎ 農業経営アドバイザー ◎ 北海道フードマイスター ◎ ジュニア野菜ソムリエ ほか